

ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧下さい。

T-660 取扱説明書

製品仕様

- 精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）
- 表示精度：±1秒以内（電波受信による時刻修正の直後）
- 使用温度範囲：0℃～40℃
- 使用電池：単4形アルカリ乾電池(LR03 1.5V)2個
※充電式電池・オキシライド乾電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
- 電池寿命：約10ヶ月（1日にアラームを30秒使用）
※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので製品仕様での表示より寿命が短い場合があります。
（モニター用電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。そのため付属の電池は保証の対象外です。）
- 受信電波：標準電波JY1，周波数：40kHz/60kHz（自動選局）
- 自動受信回数
●電池セット後24時間以内：受信に成功するまで最大7回
●電池セット後24時間以降：最多3回/1日
- カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日（フルオート）
- 温度計精度：±1℃（1～30℃の範囲内）
- 湿度計精度：±7%（常温時、41～70%の範囲内）
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して表示が見えにくくなる場合があります。●0～40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対してはなんら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。

尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	T-660
保証期間	お買上げ日より1年間
お買上げ店	
販売店	

この保証書は、複製のため、ご利用できません。

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。本保証書は日本国内のみ有効です。
(This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社

本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ伸光3階

T660-1305

注意と警告

安全にご使用いただくために下記の注意事項を必ず守って下さい。

使用上の注意

●禁止 ●分解・改造をしないで下さい。

▲注意 ▲警告 ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用、保管はしないで下さい。●温度が0℃以下、または+40℃以上になる場所●浴室など、湿気が多い場所●直射日光などの強い紫外線が当たる場所●強い磁気のある場所●振動の激しい場所●工場、台所など、油分の多く発生する場所●温泉場など、ガスの発生する場所

電池について

●禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。●＋と－を逆に入れて下さい。●電池に直接ハンダ付けしないで下さい。

▲注意 ▲警告 ●寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。●長期間機器を使用しない場合は機器からはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合はクガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は医師に相談して下さい。●電池ホルダが機能別に分かれていて2個以上の電池を使用する場合は、違う種類の電池(アルカリとマンガン等)や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。電池を廃棄、または保存する場合はテープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。

保証・アフターサービスについて

- 電池は保証の対象外です。保証期間内でも有料となります。
- 保証の内容については左記保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
 - ◆本保証書の提示がない場合
 - ◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
 - ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
 - ◆改造または分解により生じた故障・損傷
 - ◆火災や天災地変による故障・損傷
 - ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
- 保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客様が買上げ店にお持ちいただきます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。
- 修理品をお持ち込み・ご送付される場合の運賃、諸掛り費用はお客様にて負担願います。
- 修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替品を使用させていただくことがあります。
- ご購入・転居などにより、お買上げ店での保証が受けられない場合は、下記のノア精密株式会社 サービスセンターまでご相談下さい。

ノア精密株式会社 サービスセンター

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL:048-933-4080

http://www.mag-clock.co.jp

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
午前10:00～午後12:00、午後1:00～午後5:00
※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クォーツ精度で計時をします。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構(NICT)によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎月15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「原子周波数標準グループ」を参照して下さい。

通信研究機構 ホームページアドレス <http://jij.nict.go.jp>

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶表示が黒くなり、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示面には触れないで下さい。表示が見えにくくなる場合があります。しばらくすると、元に戻ります。

温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、湿度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、注意下さい。

お手入れについて

- プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラぶきして下さい。木枠金属枠の場合は柔らかい布でカラぶきして下さい。
- ベンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。日本の標準電波送信所から1,000km以上離れた場所でも、ご使用になる場所の条件により、日本の標準電波を受信して、日本時刻を表示する場合があります。

使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。

- 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下(ただし、窓際は比較的受信しやすいです)
- 山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
- 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- 自動車、電車、飛行機などの中(特に移動中は電波障害が起きやすくなります)
- 空港、交通量の多い道路の近く工事現場など
- 電波障害の起きる場所
- テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明
- 金属面(床や壁)に接して設置した場合

※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

各部の名称

●アラームセットマーク：アラームがONのとき、表示します。
●環境表示：温度と湿度の数値から、現在の環境状態を表示します。
[Comfort:快適 / Wet:多湿 / Dry:乾燥]

●カレンダー表示：カレンダー(月/日/曜日)を表示します。
※アラームがONのとき、アラーム時刻を表示します。
●スヌーズマーク：スヌーズ機能の[入・切]状態を表示します。
●電波状況表示：電波受信のとき、設置場所の電波状況を表示します。
●電波周波数表示：電波受信のとき、探している周波数を表示します。(40kHz、または60kHz)

●受信マーク：受信の結果を表示します。
●電池残量マーク：電池容量が少なくなつたときに表示します。
●時刻表示：時/分/秒を表示します。
●温度表示
本体内部のセンサーにより表示します。
湿度が20%より低いとLLを、95%を超えるとHHを表示します。
●湿度表示
本体内部のセンサーにより気温を表示します。
湿度が0度以下ではLL、50℃以上ではHH、Hを表示します。

[SNOOZE/LIGHTセンサー] スヌーズ機能とライト点灯に使用します。
[SETボタン] アラーム時刻設定と手動時刻設定に使用します。
[UPボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。
[DOWNボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。
[WAVEボタン] 強制受信と受信中止ときに使用します。
[アラームスイッチ] アラームのON/OFFに使用します。

※電池を入れるときは一側から入れて下さい。
※電池をはずすときは+側からはずして下さい。

●種類が違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因となります。

アラーム(目覚まし)の使い方

アラーム時刻の設定

●注意 ※設定中の点滅は約1分以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。
※設定時にSNOOZE/LIGHTセンサーが反応していると、操作が出来なくなります。設定時はセンサーに近い本体上部付近に手(指)を触れないで操作して下さい。

- ①アラームスイッチをONにし、アラーム設定時刻を表示させます。
- ②SETボタンを2秒以上押し続けるとアラーム時刻設定モードに入ります。→[時]部分が点滅します。
- ③UPボタン/DOWNボタンを押して[時]を設定します。
- ④[時]の設定が終了したら、SETボタンを押します。→[分]部分が点滅します。
- ⑤UPボタン/DOWNボタンを押して[分]を設定します。
- ⑥[分]の設定が終了したら、SETボタンを押します。→[スヌーズ間隔時間]が点灯します。UPボタン/DOWNボタンを押してスヌーズ間隔時間を設定します。(5～60分の間の任意の時間)
- ⑦[スヌーズ間隔時間]の設定が終了したら、SETボタンを押します。→アラーム設定時刻が表示されて、設定が完了します。
※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。
※[午前]と[午後]を間違えないように注意して下さい。

アラーム機能の使い方

●アラームを鳴らす
アラームスイッチをONの位置にする。
→アラームセットマークが点灯
※アラームは鳴り始めから約1分後に自動的に止まります。

●アラームを止める
アラームスイッチをOFFの位置にする。
→アラームセットマークが消灯
または、いずれかのボタンを押す。
→アラームが鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームセットマークが点灯したままです。

●なにもしない。(オートストップ機能)
→アラームは鳴り出しから1分で自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームセットマークが点灯したままです。

止めてもまた鳴るスヌーズ機能とライト機能

●アラームが鳴っている間に、SNOOZE/LIGHTセンサーに触れるとアラームが一瞬鳴り止まり、再び鳴り出します。
※スヌーズ間隔時間は、5～60分の間で任意の時間が設定できます。
※スヌーズ機能中は、2マークが点滅します。
※アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFの位置にします。

●SNOOZE/LIGHTセンサーに触れるとライトが約4秒間点灯します。
※SNOOZE/LIGHTセンサーは、静電気に反応するタッチセンサーです。その為センサー付近に静電気を帯びたものがあると、手で触れていない場合でもセンサーが反応する事があります。

T660-1305

時計の使い方(お使い始め)

自動設定 (電波受信による時刻・日付設定方法)

- ①単4形乾電池2個を電池ホルダの+の表示に合わせてセットして下さい。液晶面が表示され、電波の受信を開始します。
※絶縁紙がついている場合は、これをはずしてから電池を入れなおして下さい。
*受信中は受信マークが点滅します。
*受信中に電波状況表示を参照し、電波を受信しやすい場所に本体を設置して下さい。
*受信には最長4分かかります。
- ②受信の結果を確認して下さい。
本取扱説明書の[その他の機能—受信の状態について]を参照して下さい。
- 受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。
●受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。
※初期受信に失敗した場合は、3時間毎に再度自動受信モードに入ります。自動受信は、受信に成功するまで最大7回(電池をセットしてから24時間以内)繰り返します。

電波受信ができなかった場合は・・・

- ①一昼夜そのままにして様子を見て下さい。
夜間は比較的電波受信の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。初期受信に失敗しても、定期的に自動で受信をしますので、しばらく様子を見て下さい。
- ②設置場所を変えて、強制受信をして下さい。
本取扱説明書の[電波時計について]を参照して、本体の向きや置き場所を変えて、強制受信をして下さい。
※強制受信は本取扱説明書の[電波受信機能]を参照して下さい。
- ③手動による時刻・日付設定をして下さい。
[手動設定]を参照して時刻・日付を手動で合わせて下さい。
※手動で時刻を合わせた場合も、定期的に自動受信を開始して、受信に成功すると、自動で時刻を修正します。

その他の機能

電波受信機能

●強制受信
電波受信が終了(受信マークが点灯、または消灯)しているとき受信ボタンを2秒以上押しすと、電波受信を開始します。
※環境受信中に受信ボタンを2回押しすと電波受信を終了します。

●自動受信
自動受信は1日に最大3回(午前2～4時の毎正時)行われます。午前2時の受信に成功すると、次の日の午前2時まで受信はしません。午前2時の受信に失敗すると午前3時に、受信に成功するまで3回受信を繰り返します。
※初期受信は電池をセットして最初の電波受信)に失敗した場合は、3時間毎に再度自動受信モードに入ります。
自動受信は受信に成功するまで最大7回(電池を入れてから24時間以内)繰り返します。

受信の状態について (受信マークの表示例)

- 受信中(電波を探している状態)です。
 - 60kHzの電波受信中
 - 40kHzの電波受信中
- 電波状況チェック機能について
●受信中の設置場所の電波状況を表示します。
 - 電波状況の良い環境
 - 電波状況が悪く受信できない環境
- 点灯
●受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。
*次の受信開始まで点灯し続けます。
- 消灯
●受信に失敗して終了しています。
*次の受信開始(点滅)、表示されません。

手動設定 (手動による時刻・日付設定方法)

●注意 設定中の点滅は約1分以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。
※設定時にSNOOZE/LIGHTセンサーが反応していると、操作が出来なくなります。設定時はセンサーに近い本体上部付近に手(指)を触れないで操作して下さい。

- ①アラームスイッチをOFFにします。
- ②SETボタンを2秒以上押し続けると時刻設定モードに入ります。画面右下に西暦が表示し点滅します。
- ③UPボタン/DOWNボタンを押して西暦を設定します。
- ④SETボタンを押すごとに[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]→[秒]→[12/24時間表示]が点滅します。UPボタン/DOWNボタンを押してそれぞれを設定します。

年(西暦)の設定 → 月の設定 → 日の設定

時の設定 → 分の設定 → 秒の設定

※[秒]はUPボタン/DOWNボタンを押すごとに00秒に設定されます。
※[年・月・日]を合わせないと[曜日]は正しく表示されません。

12/24時間表示の設定
⑤[12/24時間表示]の設定が終了したらSETボタンを押して下さい。点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、手動による時刻・日付設定が完了します。

環境表示機能について

温度と湿度の数値から、現在の環境状態を表示します。
[Comfort:快適 / Wet:多湿 / Dry:乾燥]
※温度と湿度の数値によっては、何も表示しない場合があります。
※環境表示は、あくまで空調や体調管理の目安です。表示により発生する有無を断定するものではありません。公的機関から発表される「注意」[警報]などは一致しない場合があります。

電池交換時期とリセット操作について

- 電池交換時期
電池容量が不足してくると、電池残量マークが点灯します。速やかに新しい乾電池と2個同時に交換して下さい。
- リセット操作
電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気が内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れる前に、表示面に何も表示されていないことを確認してから、新しい電池を入れて下さい。

その他

電波障害などにより、誤った信号を受信することがあります。表示・時刻がおかしい場合はリセット操作をして、新たに設定し直して下さい。